



発行所

桐生厚生総合病院 中央検査科

責任者 梶田 幸夫

理念 臨床検査の質的向上と信頼性の確保

2026 年 2 月発行

臨床検査「パニック値」について

患者さんの血液検査を行っているとき、目を疑うような異常な検査値と遭遇することが稀にあります。このような異常な検査値は、『パニック値』や『緊急異常値』、『critical value』と呼ばれ、「生命が危ぶまれるほどの危険な状態にあることを示唆する異常値」と定義され、直ちに治療が必要とされます。今回は『パニック値』についての詳細や検査科の対応などについてご紹介させていただきます。

● 当院のパニック値一覧

分野	検査項目	単位	基準範囲	パニック値		分野	検査項目	単位	基準範囲	パニック値	
				下限値	上限値					下限値	上限値
生化学	Na	mEq/L	136~146	110	160	凝固	PT	%	70~130	40	
	K	mEq/L	3.3~4.8	2.0	6.5		APTT	sec	25.1~37.4		60.0
	Cl	mEq/L	98~108	80	125		Dダイマー	μg/mL	~1.0		20.0
	Ca	mg/dL	8.4~10.2	6.0	14.0		FDP	μg/mL	~5.0		40
	AST	U/L	13~33		500	血ガス	pH		7.35~7.45	7.10	7.60
	ALT	U/L	6~42		500		PO2	mmHg	83~108	30	
	LD	U/L	119~229		2000		PCO2	mmHg	32~48	20	70
	CK	U/L	45~287		1000		FCOHb	%	94~98		30.0
	AMY	U/L	49~136		1000	薬物濃度	Lactate	mmol/L	0.5~1.6		5.0
	GLU	mg/dL	60~110	40	500		フェノバルビタール	μg/mL	15~40		50.0
	BUN	mg/dL	8~20		150		フェニトイン	μg/mL	10~20		20.0
	T-Bil	mg/dL	0.2~1.1		20.0		カルバマゼピン	μg/mL	4.0~10.0		15.0
	TP	g/dL	6.7~8.3	3.5			バルプロ酸	μg/mL	50~100		150.0
NH ₃	pg/dL			400	ジゴキシシン		μg/mL	0.8~2.0		2.0	
血算	WBC	x10 ³ /μL	3.5~9.7	1.0	30.0	テオフィリン	μg/mL	10.0~20.0		20.0	
	Hb	g/dL	11.2~18.3	7.0		バンコマイシン	μg/mL	10~20		40.0	
	PLT	x10 ³ /μL	140~380	50	1000	細菌	血液培養		陰性		陽性
					髄液グラム染色			陰性		陽性	

※基準範囲：健康者（病気がなく健康な人）の95%があてはまる検査値範囲。以前は正常範囲とよばれていました。

パニック値は、この基準範囲を大きく逸脱した「緊急事態」のサインです。

当院におけるパニック値の運用

当院では、患者さんの安全を第一に考え、以下のような仕組みでパニック値に対応しています。

● パニック値発生から報告

当院では、検査システムで検査結果を管理しており、「パニック値」が発生すると検査結果確認画面では、**赤（異常高値）**もしくは**青（異常低値）**に色分けされ、一目で判別できるようになっています。数値が判明した際は、まず再測定を行い、その結果に間違いがないかを確認します。確認後、速やかに主治医（検査依頼医）へ直接連絡を行い、緊急事態を共有します。

項目名	結果
TP	3.0
AST	200
ALT	150
LD	
LD (IFCC)	200
CK	3000
Na	124
K	2.9
Cl	98

検査結果確認画面

● 報告後の確認

パニック値が発生した時、報告して終わりではなく、主治医に正確に伝わったか、その後の治療や追加検査が迅速に行われているかを電子カルテを利用して確認しています。また、報告した内容自体も記録として電子カルテに明記し、情報の透明性を確保しています。

● パニック値の対応事例 ～重症貧血～

当検査科ではパニック値の連絡を行う際、迅速な対応につながる情報提供に努めており、特に持続的な出血を伴う重症貧血など輸血治療が想定される場合などには、以下のような報告をしています。

- 外来患者さんでパニック値に該当する重症貧血（ヘモグロビンの低下）を確認
- 血液型の検査歴を確認
⇒検査歴がない場合、血液型の簡易検査を実施
- 患者さんに適合する輸血用血液製剤の院内在庫数を確認
- 主治医に対して
 - ①パニック値報告
 - ②患者さんの血液型、適合する血液製剤の院内在庫数等の報告
 - ③輸血治療実施の有無、患者さん状態確認
- 輸血に関わる検査、製剤確保等の準備を進め、迅速な輸血治療につなげる

※参考資料：一般社団法人 日本臨床検査医学会
臨床検査「パニック値」運用に関する提言書

「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ（インターネット）で公開しています。

ご参照ください。

ホームページ <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

